

5月18～5日北アルプス 女3人の山スキー(下)

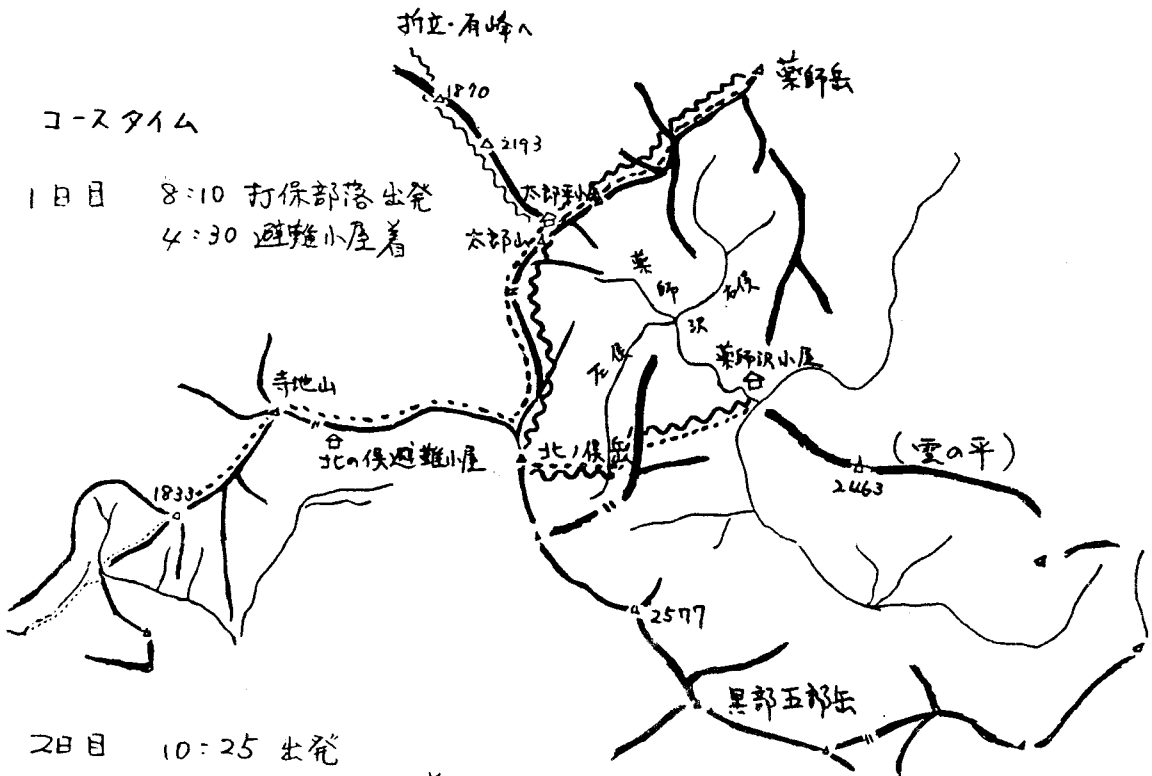
5月3日 やつと薬師が見えた。曇ってはいるが雨は落ちていないので、予定どおり薬師に登る。小屋の人達より30分位前に出たのに薬師峠の登りで追いつかれてしまった。でも、結果的にはそれがよかった。そのさき、先行者のシュプールは急な斜面についていて、うっかりそちらへ行くと登りが最後きつくなりそうだったが、私達は小屋の人達と屋根状になったゆるい方から行ったので楽だった。避難小屋手前頃より雪面が固くなりスキーアイゼンで必死になつて登る。がその先稜線が細くなって階段登行で登る様子を見て私達はスキーをぬぎ雪の消えた夏道を山頂までいく。山頂ではゆっくり休むにはちょっと寒い天気で、早早くくだる。登りもペース早かったが、下りも又早いこと。下りは山頂よりスキーをつけ、細い稜線の所は慎重に横滑りでおおりる。休憩所辺りまでは雪が固く足にひびく。その下はやわらかくなって滑りやすい。そこから薬師峠までの滑りが快適でおもしろかった。あつという間に滑りおり小屋へ着くとちょうどお昼をちょっと過ぎた頃。小屋で昼食をとる。昨日のクリームシチューを暖めて下さりごちそうになる。甘い行動食が多いのでおいしくいただく。そして午後、まだ時間があるので、太郎山より薬師沢に下る夏道がついている屋根でひと滑りして遊ぶ。雪はすっかり緩んで、少し重いザラメだがおもしろく滑れ、つい滑りすぎてしまいそうになり自制して登り返す。夜はゆっくりとコタツに入ってテレビを見てしまった。何せ2・3人の馴じみ客を除くとお客は私達だけの様で、小屋の人の方が多い位。ちょうど尾根長蔵小屋の人々のドラマで、感激しながら小屋の人と一緒に11時頃まで見てしまう。途中でメロン等ごちそうになりながら。

5月4日 今日は小屋の人が薬師沢小屋の様子を見に行くというのに又々、ついて行く事になる。北ノ俣までの緩い稜線をシールを付けて登る。今日もお天気は曇りで朝の内は雪も固め。下りを心配するが、ルートを教えてもらおうとそれほど斜度はないので少し安心。上の方は固めだったが、じき快適に滑れる。又しても、あつという間に小屋の人と馴じみ客の男の人達は下ってしまい小さくなる。私達も急いで後を追ひ、せっかくの大斜面の滑降なのに写真を撮る余裕もなし。左俣の源頭近くまで下って赤木平ヘトラバースぎみに登り返す。さつきより少し急な斜面を又、一気に滑り下りる。そして沢状の所へ入るのだが、その辺では、先に行った人達の姿がすぐ見えなくなってしまう。が所々で待っていてくれる。雪は少し重くなる。沢を下りきると開けた感じの所へ出る。ちょっとカナダの風景を思い出させる針葉樹の森。そしてようやく青空が広がってきた。広い所の端の方にスキーをデポし、薬師沢へは、細い急な小さな屋根を下る。吊橋がみえ、その横に小屋がある。ちょうど、4人パーティの人たちが橋を渡っている所だったが、雲の平から降りてきたみたいで、あんな木の密な所よく降りる気になると思い、橋に降りるのも又大変そうだった。そして一緒に小屋の所で食事。そのパーティのうちの女の人一人は小屋の人達と知り合いだった様子。又、偶然だったが、あとの三人の人達は、RSSAの人達で、一人は会報を送っている飯田さんという人だった。飯田さんも私たちのことを山スキー同志会と知って、私の名前を言われたのにはびっくり。お昼を食べて、もと来た道をひき返す。登り返しはお天気が良くなった分、暑くてちょっとしんどい。3ピッチで北ノ又につき、そこからは逆に滑って小屋にもどる。皆、思い思いにとぼして行く。小屋へ着いたのは4時ごろ。ちょうどよい時間だった。私達はすぐのんびりできるが、小屋の人達はそれから食事のしたく。申し訳ないみたい。この夜は、昨夜よりお客さんが多かった。岩魚のおさしみと岩魚酒をふるまわれる。(骨酒ではなく魚が身毎入っている。)こんなに人が多いと、明日、約束どおり有峰から車に乗せてもらえる

のかちょっと心配になって聞いたら大丈夫だったので安心した。

5月5日 今日が一番いいお天気。はじめ小屋のご主人はお昼頃降りると言っていたけれど一人を残して、9時半に小屋より下山する。飯田さん達は朝、薬師を往復してきて、下山は神岡新道へ。ちょうど神岡と有峰二つに別れて下山。太郎小屋から有峰のコースは車の便がなければ滑れる機会もないのでラッキーだった。緩い尾根を皆とばしてゆく。今日はザックを背負っている所以我はスピードをおさえぎみにしていつも最後の方。でも小屋の人が一人最後について下さっているのだから安心。地図の記号通り1934の手前より樹林となるが、まア滑れる程度で、おもしろかった。1700位から尾根道はずれて沢に入る。細い沢で沢身は水が出ているので山腹を長い長い横滑りでおいる。一カ所スキーを脱いで降りる所もあったが折立まで滑れる。その先の林道も、雪を拾ってかなり滑れ、ダム近く、車が迎えに来てくれていた所で終了となる。ここでお昼、おにぎりをごちそうになりとてもおいしかった。後は、車で亀谷温泉まで林道を走る。山桜が満開でとてもきれいだった。亀谷温泉で汗を流し又々、ビールと新鮮な海山のおつまみをごちそうになってしまった。そして富山までは、一緒に降りた高岡の山の会の人の車で送ってもらってその日の内に帰京することができた。

(記 蔵田)



コースタイム

1日目 8:10 打保部落出発
4:30 避難小屋着

2日目 10:25 出発
1:35 太郎平小屋着

3日目 8:30 出発、薬師岳往復
12:40 太郎平小屋着

4日目 9:10 出発
11:25~12:30 薬師小屋
3:50 太郎平小屋着

5日目 9:30 出発
11:55 有峰着